

医 と 社 会 Ⅲ

前期

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所の体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面で出てきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。また、ワークライフバランスについて、仕事と生活の相乗効果を高める考え方を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

- 1) 実習
 - (1) 診療所体験実習
 - (2) 診療の心得
- 2) 講義(実習も含む)内容
 - (1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者）
 - (2) 患者診察入門
 - (3) 介護・介助
 - (4) 多職種間医療連携
 - (5) 地域医療
 - (6) ワークライフバランス
 - (7) 地域包括ケアシステム
- 3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況など「A. 診療所体験実習」「B. 医哲学、医療倫理」を総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

総合診療科：大園恵幸、中道聖子、井上圭太

メディカルワークライフバランスセンター：伊東昌子、
富澤康子（東京女子医科大学循環器外科）

先端医育センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、江川亜希子

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、相良郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

地域医療学：前田隆浩、清水悠路、門田耕一郎

非常勤：永田修一（桜町調剤薬局）、坂上祐樹（宮崎市健康管理部）

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

後期

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical ethics and philosophy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

これまで医と社会では、「病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている社会・環境を洞察しうる医師となる」ことなどをめざして、主として医療従事者から見た講義・実習が行われてきた。一方、我々がおかれている現代社会において、「何が正義か?」、「何に価値をおくべきか?」、「倫理観とはどうあるべきか?」、といった根本的な哲学については、病気の診断・治療などの現場の対応に追われていると、社会背景を考慮しているようでも、しだいに見えなくなってゆくものがある。3年生後期の医と社会では、主として医療職でない立場の人から見た場合の、それら哲学・倫理・社会観を紹介していただき、そこで提起される問題について、学生の皆さんと一緒に考えてもらうことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

本年度は、救急救命九州研修所郡山先生をお迎えし、医療における倫理とは何だろうかそして、私達自身は何によって変わるのだろうかをテーマに問題提起をしていただく。富山大学の法学者・秋葉先生は、終末期医療問題に対する個人主義的アプローチと人格主義的アプローチの二つについて読み解いていただく。さらに臨床パストラルケア研修教育センターの理事長で、宗教家でもあるキッペス先生とともに、スピリチュアル・ケアとは何かを考える。間宮清先生には、サリドマイド薬害について講義していただく。田中優先生には、戦争経済化についてお話していただく。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

「B. 医哲学、医療倫理」すべて出席すること。出席カードに記載する講義内容へのレスポンス・レポートを中心に総合評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

郡山 一明（救急救命九州研修所）
 秋葉 悦子（富山大学）
 田中 優（オフィス YU）
 ワイデマール・キッペス（臨床パストラルケア教育研修センター）
 間宮 清（いしづえの会）
 未定（交渉中）

6. 備考

本講義は 歯学部（5年次）との共修である。

H27年度3年生

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
4	2	木	3 4	医療面接 1	医療面接とコミュニケーション		総合診療科・大園、中道	第 4
4	9	木	3 4	医療面接 2	医療面接法の実際		総合診療科・大園	第 4
4	16	木	3 4	患者診察	患者診察入門		総合診療科・中道、井上	第 4
4	23	木	3 4	患者診察	患者診察入門		総合診療科・中道、井上	第 4
5	27	水	3	オリエンテーション	学外体験実習について		先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
			4	地域医療	漢方について		非常勤：貝沼 地域医療学	
6	5	金	3 4	Early Exposure	診療所（1）	診療の心得	先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	12	金	3 4	Early Exposure	診療所（2）	診療の心得	先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	19	金	3 4	Early Exposure	診療の心得	診療所（1）	先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	26	金	3 4	Early Exposure	診療の心得	診療所（2）	先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	30	火	3 4	Early Exposure	実習のフィードバック・まとめ		先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
7	15	水	1		矯正医療について		福岡矯正管区	第 4
			2	地域包括	地域包括ケアシステムの理解		先端医学センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	
7	17	金	1	ワークライフバランス	医師にとってのワークライフバランス		伊東昌子	第 2、C B T 室、指導室、チュートリアル室
			2		P B L グループ討論		伊東昌子	
			3		グループ発表・全体討論		伊東昌子	
			4		キャリア講習		伊東昌子・外部講師：富澤	

医と社会授業予定(3年後期)

10	9	金	3	医療における倫理とは何だろうか？そして、私達自身は何によって変わるのだろうか	救急救命九州研修所・郡山	第 4	↑ 歯学部と共修 ↓
			4	終末期医療における倫理と法 ― 医師の職業倫理に立脚した法の形成に向けて ―	富山大学・秋葉	第 4	
10	16	金	3	地球社会の「病気」と処方箋を考える（仮題）	田中 優	第 4	
			4	スピリチュアル・ケアとは？	臨床パストラルケア教育研修センター・キッパース	第 4	
10	23	金	3	薬害問題(市販薬の薬害／サリドマイド)	間宮 清	第 4	
			4	未定		第 4	
10	30	金	3	地域医療	地域包括ケアシステムの構築と医療安全の確保について (永田先生)	地域医療学・離島へき地学	第 4
			4		我が国の医療・介護制度について (坂上先生)		第 4
11	6	金	3	診療の心得	先端医学センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第 4	
			4			第 4	

環 境 因 子 系

責任者	氏 名	工藤 崇	内 線	7101
	教 室	原研放射（アイソトープ診断治療学）	e-mail	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	3 年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Environmental Science		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生活環境には電離放射線や紫外線が存在し、特に電離放射線は医療及び研究に利用される。これらの放射線の性質及びその効果、並びに利用を学ぶことにより、環境中の放射線の存在を正しく理解する。また、生活環境には環境物質があり、それらの遺伝毒性が問題になっている。放射線・紫外及び環境物質の影響を整理して理解し、新しい知見に対する捉え方を習得し、自分でさらに詳しく調べることができるようになる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

環境中の放射線・紫外線及び環境物質を理解するには多方面からの解説が必要となる。これについては、分子レベルから組織、個体レベルと幅広く解説する。また正しい放射線及び R I の利用を学ぶために、実習を行う。実習は放射線の測定とコンピュータを用いたデータ解析を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
放射線基礎医学	青山 喬 編纂	金芳堂	5,900 円

この他に、各自で授業に関連した興味深い本を探してください。

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%

5. 教員名

原研放射：工藤 崇、岡市協生、井原 誠、西 弘大

原研細胞：鈴木啓司

原研修復：荻 朋男

原研情報：三根真理子、近藤久義

先導センター：松田尚樹、山内基弘

6. 備考（準備学習等）

LACSに講義内容を掲示するので、予習しておくこと。

実習に欠席しなければならない場合は、あらかじめ届けるか、連絡すること。

環境因子系授業予定(3年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	7	火	3	放射線の作用	放射線の基礎と特性	原研放射・西	2 講
			4	放射線の作用	放射線照射によるDNA損傷と修復(1)	原研放射・井原	2 講
4	14	火	3	放射線の作用	放射線照射によるDNA損傷と修復(2)	原研放射・岡市	2 講
			4	放射線の作用	放射線照射によるDNA損傷と細胞死	原研細胞・鈴木	2 講
4	21	火	3	放射線の利用	放射線防護のための規制科学	先端センター・松田	2 講
			4	放射線の利用	放射線被ばくによる生物影響	先端センター・山内	2 講
4	28	火	3	紫外線の作用	太陽紫外線の生物効果	先端センター・松田	1 講
			4	紫外線の作用	紫外線によるDNA損傷と修復	原研修・荻	1 講
5	12	火	3	環境物質の作用	遺伝毒性	原研細胞・鈴木	1 講
			4	原爆放射線の影響	長崎原爆と医科大学	原研情報・三根	1 講
5	26	火	3	放射線影響の解析	統計・疫学的解析	原研情報・近藤	1 講
			4	放射線の利用	放射線診断・治療の基礎と放射線防護	原研放射・工藤	1 講
6	2	火	3	実習	R I ・データ解析	原研放射 先端センター 原研情報	R I 実験施設
			4				CBT室
6	9	火	3	実習	R I ・データ解析	原研放射 先端センター 原研情報	R I 実験施設
			4				CBT室
6	16	火	3	実習	R I ・データ解析	原研放射 先端センター 原研情報	R I 実験施設
			4				CBT室
6	23	火	3	実習	R I ・データ解析	原研放射 先端センター 原研情報	R I 実験施設
			4				CBT室

3 校時 : 13:00-14:30

4 校時 : 14:40-16:10

薬 理 系

責任者	氏 名	有賀 純	内 線	7043
	教 室	医科薬理学	e-mail	aruga@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日17:00 - 18:30		

対象年次・学期	3年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical Pharmacology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：薬理学は薬と生体の相互作用について研究する科学である。薬理学は疾患の治療体系の構築に密接に関わると同時に、解剖学、生理学、生化学、化学、情報科学などさまざまな周辺科学の進展に支えられ、貢献してきた。したがって、薬理学の講義・実習においては、薬についての知識を既習の臨床・基礎医学についての知識・経験に関連づけ、柔軟に応用が可能な知識体系を各自が構築することが求められる。講義においては、自ら問題点を見だし、解決していく能力を養うことを重視する。新薬の利害得失を勘案し、安全で最適な薬物療法を考える能力をもつ医師や研究者の育成を目的とする。

到達目標：生体と薬物の相互作用について系統的に説明できる。

薬物の起源と性質、薬物開発の戦略について説明できる。

適切に取り扱いのもとに動物実験を行い、結果を評価することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

薬理学総論、及び臓器機能別薬物の作用機序並びに各病態における薬物応用理論、さらに医薬品創薬について講ずる。一部項目については実習を課す。

3. 教科書・参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics (12 th Ed)	編者：L. L. Brunton	McGraw-Hill	20,385円
NEW 薬理学（第6版）	編者：田中千賀子、加藤隆一	南江堂	9,240円
病態生理に基づく臨床薬理学	編者：D. E. Golan 日本語版監修：清野 裕	メディカルサイエンス	12,600円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答形式で行い、実習レポート、課題レポート、授業内試験の評価を加えて総合的に評価する。100点満点中、60点以上の得点をもって合格とする。薬理学実習は、薬理学筆答試験受験のために必修である。実習を行い、実習レポートをすべて提出し、受理された者のみが、薬理学筆答試験を受験する資格を有する。

5. 教員名

医科薬理学：有賀純、中川慎介、巽理恵、畑山実

薬学部細胞制御学：武田弘資

6. 備考（準備学習等）

教科書・参考書などで予習し、かつ適応となる疾患の理解をしておくこと。
実習前には、配布される実習テキストを読んで予習しておくこと。

薬理系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	水	3	総論・薬理学総論1	総論	薬理・有賀	3講
4	2	木	1	総論・薬理学総論2	薬物受容体と細胞内情報伝達系	薬理・有賀	2講
			2	総論・生理活性物質	カテコールアミン	薬理・有賀	
4	8	水	3	総論・末梢神経作用薬1	アドレナリン作用薬	薬理・有賀	3講
4	9	木	1	総論・末梢神経作用薬2	抗アドレナリン薬	薬理・有賀	2講
			2	総論・生理活性物質	アセチルコリン	薬理・有賀	
4	15	水	3	総論・末梢神経作用薬3	コリン薬・抗コリン薬	薬理・有賀	3講
4	16	木	1	循環薬理1	降圧薬	薬理・中川	2講
			2	循環薬理2	虚血性心疾患治療薬	薬理・中川	
4	22	水	3	循環薬理3	心不全治療薬	薬理・中川	3講
4	23	木	1	循環薬理4	利尿薬	薬理・中川	2講
			2	循環薬理5	抗不整脈薬	薬理・中川	
4	30	木	1	総論・生理活性物質	ペプチド	薬理・中川	2講
			2	総論・生理活性物質	セロトニン・ヒスタミン	薬理・中川	
5	7	木	1	総論・生理活性物質	アミノ酸	薬理・中川	2講
			2	総論・末梢神経作用薬4	自律神経作用薬・神経筋作用薬	薬理・有賀	
5	13	水	3	総論・末梢神経作用薬5	局所麻酔薬	薬理・有賀	3講
5	14	木	1	総論・生理活性物質	エイコサノイド・サイトカイン	薬理・有賀	2講
			2	総論・炎症免疫薬理学	鎮痛薬・解熱薬	薬理・有賀	
5	21	木	1	総論・炎症免疫薬理学	抗炎症薬・副腎皮質ステロイド	薬理・有賀	2講
			2	総論・薬物動態	薬物代謝・薬物相互作用	薬理・有賀	
5	28	木	1	呼吸器	呼吸器作用薬	薬理・巽	2講
			2	消化器	消化器疾患治療薬	薬理・巽	
6	4	木	1	総論・感染症	抗菌薬	薬理・有賀	2講
			2	総論・感染症	抗真菌薬・抗ウイルス薬	薬理・有賀	
6	11	木	1	総論・腫瘍薬理学	抗腫瘍薬	薬理・畑山	2講
			2	総論・腫瘍薬理学	抗腫瘍性分子標的薬	薬理・畑山	
6	18	木	1	総論・創薬	ストレス応答シグナルと分子標的治療薬	薬学部・武田	2講
			2	総論・創薬	臨床試験・実験動物の取り扱い	薬理・有賀	
6	25	木	3	薬理学実習1	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物 3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	実習 (第一実習室・第3第4 シ-室)
			4	薬理学実習1		薬理学教員	

薬理系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	13	月	3	薬理学実習2	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実習 (第一実習室・第3第4ゼミ室)
			4	薬理学実習2	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	
7	15	水	3	薬理学実習3	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実習 (第一実習室・第3第4ゼミ室)
			4	薬理学実習3	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	
7	21	火	3	薬理学実習4	1) 血圧に作用する薬物 2) 腸管に作用する薬物	薬理学教員	実習 (第一実習室・第3第4ゼミ室)
			4	薬理学実習4	3) 中枢神経系に作用する薬物 4) カフェインの作用	薬理学教員	

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	13	金	1	内分泌代謝	糖尿病薬	薬理・有賀	4 講
			2	内分泌代謝	高脂血症・痛風治療薬	薬理・有賀	
11	27	金	1	内分泌代謝	内分泌代謝疾患治療薬	薬理・中川	3 講
			2	血液リンパ	抗凝固抗血小板薬	薬理・中川	

病 理 各 論 系

責任者	氏 名	福岡 順也	内 線	7055
	教 室	病理学 (病理二)	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00-17:00 事前予約してください。		

対象年次・学期	3年・通年	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	4
英語名	Organ Pathology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病理診断は、臨床において疾患の最終診断を決定する、重要な診断部門を担う。病理総論では、生体の基本的な防御機構や反応、及び組織の病変形成機序について学んだ。病理各論は病理疾病論と病理診断学の2つに分かれる。病理疾病論として各臓器における代表的な疾患の病理学的概念を学び、病理診断学においては、臨床に則した病理診断のポイント、鑑別疾患について学ぶ。各論を通じて具体的な疾患の病理組織変化を自らの目で確かめ、代表疾患の病理診断を行う事が出来、各疾患の持つ特徴的病変が臨床へどのように反映されるかを学び、更に治療の効果やその影響を理解する上で重要な病理学的知識を習得する。臓器別の臨床各系の講義の前後に各分野の病理各論を配置し、その領域の総合的理解を深めるように時間割りが組まれている。

2. 授業内容（講義・実習項目）

[病理各論 I] 3年前期に第一病理、第二病理、病院病理診断科、原研病理にて担当し、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：呼吸器、消化器、循環器。

[病理各論 II] 3年後期に第二病理、病院病理診断科、原研病理、口腔病理にて担当し、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：生殖器、乳腺、内分泌、血液、腎泌尿器、脳神経、細胞診。

3. 教科書、参考書等

特に指定教科書はないが、掲げた教科書以外にも良書は多い。英語の優れたテキストも多く、読みやすいものを選ぶとよい。

テキストブック

	書 名	著 者	出 版 社	定 価
原著	新病理学各論	菊池浩吉、他	南山堂	12,600円
原著	Pathologic Basis of Disease	Cotran, R. S. 他	W. B. Saunders Co	12,285円
訳本	ロビンズ基礎病理学	Kumar, V. 他 (森亘、桶田理喜 監訳)	廣川書店	18,900円
訳本	カラー版アンダーウッド病理学	Underwood, J. C. E. (鈴木利光、森道夫 監訳)	西村書店	7,875円
訳本	人体病理学	Stevens, A. & Lowe, J. (石倉 浩 監訳)	南江堂	9,450円
訳本	ルービンカラー基本病理学	Ruben, E. (河原栄、横井豊治 監訳)	西村書店	6,510円

アトラス

	書 名	著 者	出 版 社	定 価
原著	病理組織の見方と鑑別診断 カラーアトラス	赤木忠厚 他	医歯薬出版	13,650円
原著	組織病理アトラス	藍沢茂雄 他 (編集)	文光堂	12,600円
訳本	カラーアトラス 基礎組織病理学	Stevens, A. 他 (今井大、山川光徳 監訳)	西村書店	7,140円
訳本	アンダーソン 病理学カラーアトラス	Damjanov, I. & Linder, J. (山口和克 翻訳)	メディカル サイエンス インターナショナル	12,600円

4. 成績評価の方法・基準

前期末及び後期末の講義終了後に、それぞれ[病理各論Ⅰ]と[病理各論Ⅱ]の試験を行う。試験問題、解答は基本的に英語で実施。試験点に加え、出席状況とレポートの内容を加味して評価する。各領域ともに6割以上を合格点とする。

5. 教員名

探索病理学（病理1）：下川功、森亮一、林洋子、Park Seongjoon

病理診断科学（病理2）：福岡順也、新野大介、二反田隆夫

原研病理：中島正洋、七條和子、三浦史郎

病院病理診断科：安倍邦子、木下直江、田畑和宏

口腔病理：池田通

非常勤講師：伊藤智雄（神戸大学）、伊東正博（長崎医療センター）、大谷博（福岡白十字病院）、Kevin Leslie (Mayo Clinic)、Mathew Zarka (Mayo Clinic)、浅田祐士郎（宮崎大学）、杉谷雅彦（日本大学）岸川正大（長崎病理診断科）

6. 備考（準備学習等）

病理総論で学んだ事項を十分に理解しておくこと。

病理各論系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	金	2	病理疾患論	感染症	三浦	3講
4	7	火	1	病理疾患論	呼吸器	中島	1講
			2		呼吸器		
4	10	金	2	病理診断学	呼吸器・感染性肺炎（講義）	福岡	1講
4	14	火	1	病理疾患論	心疾患概論	下川	1講
			2		心疾患概論		
4	17	金	2	病理診断学	呼吸器・感染性肺炎（実習）	福岡	情処
4	21	火	1	病理診断学	心疾患（講義）	下川	実2/情処
			2		心疾患（実習）	下川・林・森・Park	
4	24	金	2	病理診断学	呼吸器・びまん性肺疾患1（講義・実習）	田中・福岡	3講
4	28	火	1	病理疾患論	消化器	赤澤	1講
			2		消化器	伊東（医療センター）	
5	1	金	2	病理診断学	呼吸器・びまん性肺疾患2（講義・実習）	福岡・田中	3講
5	8	金	2	病理診断学	消化器・口腔（講義・実習）	池田（歯）	1講
5	12	火	1	病理疾患論	消化器	三浦	実2
			2		消化器		
5	15	金	2	病理診断学	呼吸器・肺腫瘍1（講義・実習）	福岡	情処
5	22	金	2	病理診断学	呼吸器・肺腫瘍2（講義・実習）	福岡	情処
5	26	火	1	病理診断学	消化器・唾液腺・食道（講義・実習）	田畑	情処
			2		消化器・唾液腺・食道（実習・実習）		
5	29	金	2	病理診断学	体腔（講義・実習）	福岡・橋迫	情処
6	2	火	1	病理診断学	消化器・腸炎症（講義）	福岡・新野	情処
			2		消化器・腸炎症（実習）		
6	5	金	2	病理診断学	消化器・胃炎（講義・実習）	福岡・橋迫	情処
6	9	火	1	病理診断学	消化器・腸腫瘍（講義・実習）	田畑	情処
			2		消化器・腸腫瘍（講義・実習）		
6	12	金	2	病理診断学	消化器・胃腫瘍（講義・実習）	福岡・加島	情処
6	16	火	1	病理診断学	呼吸器・細胞診（講義・実習）	二反田	情処
			2		体腔・細胞診（講義・実習）		
6	19	金	2	病理診断学	消化器・肝胆膵炎症（講義・実習）	福岡・田中	4講
6	23	火	1	病理診断学	消化器・肝臓非腫瘍1（講義・実習）	伊藤（神戸大）	2講/情処
			2		消化器・肝臓非腫瘍2（講義・実習）		
6	26	金	2	病理診断学	消化器・肝腫瘍（講義・実習）	福岡・釘山	情処
6	30	火	1	病理診断学	消化器・胆嚢・膵臓腫瘍（講義・実習）	福岡・田中	情処
			2		消化器・胆嚢・膵臓非腫瘍（講義・実習）		
7	3	金	2	病理診断学	脈管・動脈硬化（講義・実習）	二反田	情処
7	7	火	1	病理診断学	脈管・血管炎（講義・実習）	福岡	情処
			2		脈管・腫瘍（講義・実習）		
7	10	金	2	病理診断学	循環器・心臓（講義・実習）	下川・林・森・Park	実2
7	14	火	3	病理診断学	循環器・心臓（講義・実習）	大谷	1講、実2
			4		循環器・心臓（講義・実習）		

病理各論系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	7	月	1	病理疾患論	内分泌	中島	3 講
			2	病理疾患論	内分泌		
9	10	木	1	病理疾患論	乳腺・生殖系	三浦	3 講
			2	病理疾患論	乳腺・生殖系		
9	14	月	1	病理疾患論	分子病理	松田	3 講
			2	病理疾患論	細胞診		
9	17	木	1	病理診断学	血液・リンパ系・腫瘍（講義・実習）	福岡（新野）	情処
			2		血液・リンパ系・腫瘍（講義・実習）		
9	24	木	1	病理診断学	血液・リンパ系・非腫瘍（講義・実習）	福岡（新野）	情処
			2		血液・リンパ系・非腫瘍（講義・実習）		
9	28	月	1	病理疾患論	泌尿器	中島	3 講
			2		泌尿器		
10	1	木	1	病理診断学	内分泌 1	安倍	情処
			2		内分泌 2		
10	5	月	1	病理診断学	内分泌 3	安倍	情処
			2		内分泌 4		
10	8	木	1	病理疾患論	脳神経 1	中島	実 2
			2		脳神経 2		
10	15	木	1	病理診断学	乳腺・生殖系・子宮	木下	情処
			2		乳腺・生殖系・卵巣		
10	19	月	1	病理診断学	乳腺・生殖系・乳腺	安倍	情処
			2		乳腺・生殖系・乳腺		
10	26	月	1	病理診断学	脳神経 3	中島	実 2
			2		脳神経 4		
11	2	月	1	病理診断学	泌尿器・膀胱・尿管腫瘍	伊藤（神戸大）	情処
			2		泌尿器・腎腫瘍・腎炎		
11	9	月	1	病理診断学	脳神経 5	岸川	実 2
			2		脳神経 6		
11	16	月	1	病理診断学	Practical Pathology in US	Kevin Leslie(Mayo Clinic)・ Mathew Zarka (Mayo Clinic)・福岡	4 講
			2		Practical Pathology in US		

循環器系

責任者	氏 名	前村 浩二	内 線	7288
	教 室	循環器内科学	e-mail	maemura@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Cardiovascular Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

循環器疾患の病因と病態を理解した上で、診察法、検査法、治療法について系統的に効率よく理解することを目指す。単に知識だけを学習するにとどまらず、循環器疾患特有の即座に対応せねばならない判断力、患者さんに対する倫理観を踏まえての対話・表現力などを習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義内容は心臓血管系の発生、形態および機能、循環器検査法、循環器診断学、心不全、先天性心疾患、心臓弁膜症、心筋症、心内膜疾患、心膜疾患、心臓腫瘍、循環器感染症、虚血性心疾患、肺循環障害、動脈硬化、大動脈疾患、中・小動脈疾患、静脈疾患、不整脈、高血圧、低血圧とする。

近年の循環器疾患の進歩は目覚ましく、従来のように心行動態を中心とした理解のみでは不十分である。講義内容はその領域の専門家に重要事項がもれないようにお願いし、しかも簡潔に要領よく講義して疾患および病態の本質が正確に理解できるように努める。また、講義内容があまり専門的にならず基本的事項を十分に理解できるようにすることを原則とする。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
内科学 第10版	矢崎義雄 監修	朝倉書店	29,000円
新臨床内科学 第9版	高久史磨 他監修	医学書院	22,000円
循環器内科学	水野杏一 他編	丸善出版	4,900円
HARRISON'S PRINCIPLES OF INTERNAL MEDICINE, 18th Edition (2015年4月改訂予定)	Longo, et.al	McGraw-Hill	
BRAUNWALD'S HEART DISEASE, 10th Edition	Mann et.al	南江堂	32,000円
標準小児科学 第8版	内山聖 監修	医学書院	8,800円
周生期循環異常	中澤誠 編	メジカルビュー社	5,500円
新 目で見える循環器病シリーズ13ー先天性心疾患ー	中澤誠 編	メジカルビュー社	9,500円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に試験を施行して評価する。試験100%であるが、国家試験形式では評価できない修得度は記述式問題で評価する。**60%以上**を合格とする。ただし、総合点が60%以上であっても、循環生理、放射線科(アイソトープ診断治療含む)、小児科、心臓血管外科、循環器内科それぞれで**45%**に満たない場合は、それぞれの科の分だけの再試とする。

5. 教員名

循環器内科：前村浩二、河野浩章、小出優史、池田聡司、片山敏郎、深江学芸
恒任章、土居寿志、古賀聖士、米倉剛、荒川修司
分子生理：蒔田直昌
小児科：本村秀樹、蓮把朋之
心臓血管外科：江石清行、谷川和好
放射線科：坂本一郎
アイソトープ診断治療：工藤崇
非常勤講師：瀬戸信二、芦澤直人、山近史郎、濱脇正好、松岡陽治郎

6. 備考（準備学習等）

循環器学教科書および診断学教科書を用いて講義の前に予め予習しておくこと。

循環器系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	水	4	循環器総論	症候学	循環器内科・前村	3 講
4	6	月	3	心電図	心電図の基本	循環器内科・深江	3 講
			4	心機能検査	心エコー図、心臓カテーテル検査	循環器内科・恒任	
4	8	水	4	動静脈疾患	動脈・静脈疾患の内科	循環器内科・池田	3 講
			3		動脈・静脈疾患の外科	心外科・谷川	3 講
4	13	月	4	循環器画像診断	循環器系の核医学検査	アイソトープ診断治療・工藤	
4	15	水	4	循環器画像診断	循環器の画像診断（総論・後天性心疾患）	放射線科・坂本	3 講
4	20	月	3	弁膜疾患	弁膜症（1）	非常勤・瀬戸	3 講
			4		弁膜症（2）	非常勤・瀬戸	
4	22	水	4		心エコー・手術適応	非常勤・山近	3 講
4	27	月	3		弁膜症の外科（1）	心外科・江石	3 講
			4		弁膜症の外科（2）	心外科・江石	
5	11	月	3	血圧異常	本態性高血圧症	循環器内科・河野	1 講
			4		二次性高血圧症、低血圧	循環器内科・河野	
5	13	水	4	肺循環	肺血栓塞栓症、肺高血圧症、肺性心	循環器内科・池田	3 講
5	18	月	3	心筋疾患	心筋症・心筋炎	非常勤・芦澤	3 講
			4		心筋症・心筋炎	非常勤・芦澤	
5	25	月	3	虚血性心疾患	狭心症	循環器内科・片山	3 講
			4		心筋梗塞	循環器内科・片山	
6	1	月	3		狭心症・心筋梗塞の治療	循環器内科・古賀	3 講
			4		虚血性心疾患の外科	心外科・江石	
6	8	月	3	不整脈	上室性・心室性不整脈、WPW症候群	循環器内科・土居	3 講
			4		房室ブロック、洞不全症候群、ペースメーカー	循環器内科・土居	
6	15	月	3		心臓突然死、植込型除細動器	循環器内科・深江	3 講
			4	心電図	心電図判読の実際	循環器内科・荒川	
6	22	月	3	心膜・心内膜・腫瘍	心膜炎、感染性心内膜炎、心臓腫瘍	循環器内科・米倉	3 講
			4	心電図	心電図演習	循環器内科・荒川	
6	29	月	3	循環器総論	心臓血管の構造と機能（1）	分子生理・蒔田	2 講
			4		心臓血管の構造と機能（2）	分子生理・蒔田	
7	1	水	3	心不全	急性心不全	循環器内科・小出	1 講
			4		慢性心不全	循環器内科・小出	
7	2	木	3	TBL	循環器系TBL	循環器内科・池田	1 講
			4				
7	6	月	3	TBL	循環器系TBL	循環器内科・深江	2 講
			4				
7	13	月	1	先天性心疾患	非チアノーゼ群	小児科・本村	1 講
			2		チアノーゼ群	小児科・蓮把	
7	14	火	1	小児心疾患	リウマチ熱、川崎病	小児科・本村	4 講
			2	先天性心疾患	先天性心疾患の外科	非常勤・濱脇	
7	21	火	1		成人にみられる先天性心疾患	非常勤・山近	4 講
			2	循環器画像診断	先天性心疾患の画像診断	非常勤・松岡	

呼 吸 器 系

責任者	氏 名	永安 武	内 線	7304
	教 室	外科学第一(腫瘍外科)	e-mail	nagayasu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 9:00-17:00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Respiratory Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい: 正常呼吸器系の解剖と生理の知識をもとに、各呼吸器系疾患の病態、診断、治療方法を理解する。
 到達目標: (1) 正常呼吸器系の構造と機能を説明できる。(2) 各呼吸器疾患の病態について説明できる。
 (3) 各呼吸器疾患の診断について説明できる。(4) 各呼吸器疾患の治療について説明できる。

2. 授業内容(講義・実習項目)

正常呼吸器系の構造・機能を基本として各疾患の病態について学ぶ。さらに、内科、外科、放射線学的立場より疾患の症候、診断方法を理解し、疾患に応じた内科および外科的治療について学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
ガイドラインをふまえた成人市中肺炎診療の実際	河野 茂 編	医学書院	4,830 円
レジデントのための呼吸器疾患診療マニュアル 第2版	河野 茂、早田 宏 編	医学書院	4,700 円
咳嗽に関するガイドライン第2版	咳嗽に関するガイドライン第2版作成委員会(委員長、河野 茂)	日本呼吸器学会	3,000 円
臨床腫瘍学	日本臨床腫瘍学会 編	癌と化学療法社	25,000 円
呼吸器外科	正岡 昭 編	南江堂	13,390 円
新版: 胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800 円
胸部単純X線アトラス vol.1肺	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500 円
胸部単純X線アトラス vol.2縦隔、胸膜他	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,300 円

4. 成績評価の方法・基準

○定期考査を100%として評価するが、正当な理由なく全授業時間の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。定期考査は授業時間に応じて各分野(生理・内科・外科・放射線科)から出題を行い、合計60点以上を合格とする。但し、合計60点以上であっても、各分野の得点がある分野で4割未満の場合は不合格となる。

5. 教員名

呼吸器内科学(第二内科): 尾長谷 靖、福島千鶴、中村洋一、坂本憲徳、今村圭文、角川智之、原 敦子、早田 宏(非常勤講師)、迎 寛(非常勤講師)、掛屋 弘(非常勤講師)
 臨床感染症学: 泉川公一、宮崎泰可、高園貴弘
 腫瘍外科(第一外科): 永安 武、山崎直哉、土谷智史、松本桂太郎
 臨床腫瘍学(がん診療センター): 芦澤和人

6. 備考(準備学習等)

予習については、すでに履修した正常呼吸器系の解剖と生理の項目を復習しておく。

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	水	1	呼吸器病学総論	構造と疾患	第二内科・尾長谷	3 講
			2	呼吸生理	呼吸性酸塩基平衡異常と肺による代償機能	第二内科・尾長谷	
4	8	水	1 2	びまん性肺疾患	特発性間質性肺炎 びまん性肺疾患（1）	第二内科・非常勤・迎 第二内科・坂本	3 講
4	15	水	1	呼吸器画像診断	画像診断総論（1）	臨床腫瘍学・芦澤	3 講
			2		画像診断総論（2）	臨床腫瘍学・芦澤	
5	13	水	1	呼吸器感染症	呼吸器感染症総論	臨床感染症学・泉川	4 講
			2		市中肺炎、肺化膿症	臨床感染症学・泉川	
5	27	水	1	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患（2）	第二内科・角川	4 講
			2	閉塞性・職業性肺疾患	COPD、塵肺など	第二内科・福島	
6	3	水	1	呼吸器画像診断	画像診断各論（1）	臨床腫瘍学・芦澤	4 講
			2		画像診断各論（2）	臨床腫瘍学・芦澤	
6	4	木	3	呼吸器外科	縦隔の外科（1）	腫瘍外科・山崎	4 講
			4		縦隔の外科（2）	腫瘍外科・山崎	
6	10	水	1	呼吸器感染症	気道感染症	第二内科・非常勤・掛屋	4 講
			2		結核、非結核性抗酸菌症	臨床感染症学・高園	
6	11	木	3	アレルギー性肺疾患	気管支喘息	第二内科・尾長谷	4 講
			4		好酸球性肺疾患	第二内科・尾長谷	
6	17	水	1	呼吸器外科	胸部外傷	腫瘍外科・土谷	4 講
			2		肺の外科（3）	腫瘍外科・宮崎	
6	18	木	3	呼吸器外科	肺の外科（1）	腫瘍外科・永安	4 講
			4		肺の外科（2）	腫瘍外科・永安	
6	24	水	1	呼吸器腫瘍	肺癌、良性腫瘍、放射線肺臓炎	第二内科・中村	4 講
			2		胸膜と胸壁腫瘍、縦隔腫瘍	第二内科・中村	
7	1	水	1	呼吸器感染症	院内肺炎、医療・介護関連肺炎	第二内科・今村	1 講
			2		日和見感染症	臨床感染症学・宮崎	
7	7	火	3	呼吸器腫瘍	分子標的薬総論	第二内科・非常勤・早田	1 講
7	8	水	1	びまん性肺疾患	びまん性肺疾患（3）	第二内科・原	4 講
			2	呼吸器内科総括	まとめと復習	第二内科・尾長谷	
7	9	木	3	呼吸器外科	外科診断技術・周術期管理・手術様式	腫瘍外科・松本	4 講
			4		胸壁・胸膜・横隔膜の外科	腫瘍外科・永安	

消化器系

責任者	氏 名	中 尾 一 彦	内 線	7481
	教 室	消化器内科	e-mail	kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 午前8：30～12：00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Digestive disease		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
1. 消化器病（胃・腸・食道） 分子カギから病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄	編 羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管2	矢崎義雄	編 Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻：食道・胃・十二指腸 第2巻：小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘	編 文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第4版	向井 清 真鍋俊明 深山正久	編 文光堂	40,000 円
5. 内科学書（全2冊）	島田 馨	編 中山書店	25,000 円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答試験と病理実習試験をもって行う。筆答試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：中島、三浦
消化器内科：中尾、竹島、大仁田、田浦、宮明、三馬、赤澤、柴田、本田、松島、南、石居
光学医療診療部：磯本、山口
第一外科：日高、竹下
第二外科：北里、日高、曾山
非常勤講師：八橋 弘、宿輪三郎

6. 備考（準備学習等）

出欠チェックは1コマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

消化器系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	金	3	上部消化管－構造機能	食道・胃	光学 磯本	3 講
4	3	金	4	消化管ホルモン	消化管ホルモン	消内 赤澤	3 講
4	10	金	3	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など	消内 南	3 講
4	10	金	4	上部消化管－症候	腹痛など	消内 松島	3 講
4	17	金	3	胃・十二指腸疾患	胃癌など	光学 磯本	3 講
4	17	金	4		胃・十二指腸疾患		3 講
4	24	金	3	癌取り扱い規約	食道・胃	原病 三浦	3 講
4	24	金	4		大腸		3 講
4	30	木	3	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症	消内 赤澤	3 講
4	30	木	4	消化管の内視鏡検査と治療	（特別講義）	宮崎病院 宿輪	3 講
5	1	金	3	下部消化管-症候論、機能性疾患	下血、便通異常、脂肪便、過敏性腸症候群など	消内 竹島	3 講
5	1	金	4	下部消化管 - 構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など		3 講
5	7	木	3	大腸疾患(炎症)	炎症性腸疾患(IBD)、虚血性腸炎、腸型バーチエット病など	消内 竹島	3 講
5	7	木	4		感染症腸疾患、憩室、放射線照射性腸炎、MPSなど		3 講
5	8	金	3	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポースिसなど	光学 山口	3 講
5	8	金	4		癌、カルチノイド腫瘍など		3 講
5	14	木	3	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など	外1 日高	3 講
5	14	木	4	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外1 竹下	3 講
5	15	金	3	肝	正常組織・生理機能	消内 中尾	3 講
5	15	金	4		先天異常		3 講
5	21	木	3	全身性疾患と消化管	膠原病、アミロイドーシス、血液疾患など	光学 磯本	3 講
5	21	木	4	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外1 竹下	3 講
5	22	金	3	胆膵疾患	主要症候と検査	消内 大仁田	3 講
5	22	金	4		胆道癌、膵癌など		3 講

消化器系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	28	木	3	食道・胃・十二指腸 手術術式	食道損傷など 食道	外1 日高	3 講
5	28	木	4		胃・十二指腸		3 講
5	29	金	3	肝	病態生理	消内 中尾	3 講
5	29	金	4	肝	胆管癌、転移性肝癌	消内 本田	3 講
6	3	水	3	膵疾患	膵炎など	消内 大仁田	3 講
6	3	水	4	胆道疾患	炎症・結石		3 講
6	10	水	3	肝	急性肝炎（特別講義）	長崎医療センター 八橋	3 講
6	10	水	4		慢性肝炎（特別講義）		3 講
6	17	水	3	肝	代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、 薬剤性 1	消内 宮明	3 講
6	17	水	4		代謝性肝疾患(NASH、ASHなど)、 薬剤性 2		3 講
6	24	水	3	肝	肝硬変・肝不全	消内 宮明	3 講
6	24	水	4		静脈瘤、非硬変性門亢症	消内 三馬	3 講
6	25	木	1	肝	肝癌、肝良性腫瘍	消内 田浦	3 講
6	25	木	2				3 講
7	2	木	1	消化器疾患	消化器癌の化学療法	消内 本田	1 講
7	2	木	2	肝	HEV、肝炎ウイルス以外のウイルスと寄生虫膿瘍などの感染症	消内 柴田	1 講
7	3	金	3	外科的疾患	胆道系	外2 日高	1 講
7	3	金	4	膵	内分泌腫瘍	外2 北里	1 講
7	9	木	1	外科的疾患	膵臓の手術術式など	外2 北里	4 講
7	9	木	2	病理の要点	肝胆膵	原病・中島	4 講
7	10	金	3	外科的疾患	肝細胞癌など	外2 曾山	3 講
7	10	金	4		肝移植	外2 日高	3 講
7	16	木	1	消化器系TBL		消内 柴田、石居	4 講
7	16	木	2				4 講

感 染 症 系

責任者	氏 名	泉川 公一	内 線	7731
	教 室	臨床感染症学	e-mail	koizumik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 17:00-18:00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Infectious Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：感染症は、あらゆる臓器に発症しうる疾病であり、原因微生物も多岐にわたる。感染症が疑われる患者にいかによりアプローチし、的確な診断、適切な治療、さらには感染予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶ。病原体の多様性や感染症の臨床像に対し応用力をつけ、感染予防の方法についても学ぶ。

到達目標：臨床医学の中における感染症の特徴を理解して、説明することができる。感染症の患者へのアプローチや診断、治療、予防を総合的にとらえて説明することができる。また、熱帯感染症についてその背景、特徴を説明することができる。院内感染について、その対策や制御および重要な原因微生物について説明することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する内容を学習する。主に一般細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、抗酸菌感染症の診断と治療を学習する。また、院内感染の予防や感染対策も重要な問題であるため、その対策の実際を学び、実習も行う。さらにグローバル化を背景に日本でも見られるようになったマalaria、デング熱、下痢症、新興感染症についても学ぶ。おのおのの病原体の基礎知識、宿主-病原体関係について理解し感染症の病態生理を根本的に理解する。

3. 教科書、参考書等

以下のものを参考書として推薦する。

Mandel GL, Bennett JE, Dolin R. 8th ed 「Principles and Practice of Infectious Diseases」

Mayhall CG. 4th ed 「Hospital Epidemiology and Infection Control」

Richard A. Harvey 山口恵三/松本哲哉 監訳 「イラストレイテッド微生物学 第2版」 丸善株式会社

河野 茂 編 「感染症のとりえ方」文光堂

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%。授業内容を中心に出题する試験により行う。

5. 教員名

臨床感染症学：泉川公一、宮崎泰可、高園貴弘、田代将人

病態解析・診断学（検査部）：柳原克紀

呼吸器病態制御学（第二内科）：今村圭文、西條知見

感染制御教育センター：塚本美鈴

感染病態制御学分野（小児科）：森内浩幸

臨床感染症学分野（熱研内科）：有吉紅也、森本浩之輔

熱研 ウイルス学分野：森田公一

熱研 寄生虫学分野：濱野真二郎

比較動物医学分野（動物実験施設）：大沢一貫

分子治療研究分野（原研内科）：田口 潤

6. 備考（準備学習等）

すでに2年次に履修した感染系の各項目を復習しておくこと。

感染症系授業予定(3年前期)

月	日	曜日	校時	授 業 項 目	授 業 内 容	担当講座等・教員	教室
4	6	月	1	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法	感染症の古典的な鏡顕や培養、抗血清による診断法から、近年開発された尿中抗原検査や遺伝子診断まで適応や意義を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	3講
4	6	月	2	耐性菌による感染症	現在、各種領域で問題となっている耐性菌を紹介するとともに、耐性菌による感染症の発症に至る機序や治療について学ぶ。	東京医科大・松本	3講
4	13	月	1	感染症の予防(1)：能動免疫	ワクチン接種による感染症の予防法についての総論と、代表的なワクチンの各論について学ぶ。	小児科・森内	3講
4	13	月	2	人獣共通感染症	人獣共通（動物由来）感染症について、微生物の概説、伝播方式、予防策などトピックを交えながら講義する。	比較動物医学・大沢	3講
4	20	月	1	熱帯でよくみる細菌感染症の診断と治療	主に熱帯地でみられる、細菌性感染症について、病態、診断、治療について解説する。	熱研内科・森本	3講
4	20	月	2	感染症の救急診療	感染症領域における救急診療のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	第二内科・今村	3講
4	27	月	1	不明熱と敗血症，SIRS	不明熱の3大原因の一つが感染症である。不明熱をみた場合に鑑別すべき感染症と診断法について学ぶ。	臨床感染症学・高園	3講
4	27	月	2	寄生虫感染症の診断と治療	熱帯地でみられる寄生虫感染症の疫学・病態・臨床・診断・治療・予防について体系的に説明する。	熱研・濱野	3講
5	11	月	1	感染症の予防(2)：受動免疫，その他	免疫グロブリン療法による受動免疫やその他の手段による感染症の予防法について学ぶ。	小児科・森内	1講
5	11	月	2	熱帯医学と感染症	熱帯地でみられる感染症を概説するとともに、熱帯医学を幅広くとらえる視野を持たせる。	熱研内科・有吉	1講
5	18	月	1	ウイルス感染症の診断	ウイルス感染症の診断法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの診断法の各論を概説する。	小児科・森内	4講
5	18	月	2	ウイルス感染症の治療	ウイルス感染症の治療法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの治療法の各論を概説する。	小児科・森内	4講
5	25	月	1	マラリアの診断と治療および予防	熱帯地でみられるマラリアを中心とする原虫疾患の疫学・病態・臨床・診断方法・治療・予防について体系的に説明する。	熱研内科・有吉	4講
5	25	月	2	インフルエンザウイルス感染に関連する様々な臨床像について説明する。	インフルエンザウイルス感染に関連する様々な臨床像について説明する。	第二内科・今村	4講
6	1	月	1	TBL		熱研・森本	4講
6	1	月	2	TBL		熱研・森本	4講
6	8	月	1	院内感染とその対策Ⅰ	接触感染、飛沫感染、空気感染の違いと、院内感染対策の上で重要な病原菌の病態や対処方法を学ぶ。	臨床感染症学・泉川	4講
6	8	月	2	院内感染とその対策Ⅱ	院内感染を防止するための理論と対策を学ぶ。	感染制御教育センター 塚本	4講
6	15	月	1	熱帯地方のウイルス感染症の診断と治療	熱帯地域で重要な日本脳炎、デング出血熱、西ナイル熱などの蚊媒介性ウイルス感染所の診断、治療、予防について講義する。	熱研・森田	4講
6	15	月	2	院内感染対策実習	院内感染防止の具体的手順について実習する。	臨床感染症学・泉川・田代 感染制御教育センター 塚本	4講
6	22	月	1	抗酸菌感染症の診断と治療	結核症と非結核性抗酸菌症の疫学、病態と鑑別診断、さらに診断方法と標準的な治療法に関して学習する。	富山大学・山本	4講
6	22	月	2	深在性真菌症の診断と治療	深在性真菌症の主要な病原菌、重要な基礎疾患、エビデンスに基づく抗真菌薬療法について学ぶ。	臨床感染症学・宮崎	4講
6	29	月	1	エイズの疫学，自然経過，予防	国内外のエイズ流行の動向について概説し、エイズの疫学、自然経過、予防対策の本質について学ぶ。	熱研内科・有吉	1講
6	29	月	2	エイズの臨床、治療	HIV感染者・エイズ患者に対する臨床的アプローチの仕方、日和見感染症の予防・治療、最新の抗HIV薬併用療法について学ぶ。	熱研内科・有吉	1講
7	6	月	1	性行為感染と母子感染	ヒトの再生に関わる性行為、妊娠、分娩、授乳の営みを介して起こる感染症の総論と、代表的疾患の各論を学ぶ。	小児科・森内	1講
7	6	月	2	難治性感染症	問題となる難治性感染症の原因として耐性菌やバイオフィルム感染症などがあるが、具体的な疾患について学ぶ。	第二内科・西條	1講
7	7	火	4	感染症の画像診断	感染症領域における画像診断のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	臨床感染症学・田代	1講
7	8	水	3	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症	抗がん剤治療後のがん患者などにおける免疫不全と併発する感染症の病態生理を講義する。	原研内科・田口	4講
7	8	水	4	抗菌薬の選択法	最新の一般抗菌薬の種類、各系統のスペクトルや副作用の特徴、典型的な適応症について学ぶ。	病態解析・診断学・柳原	4講
7	16	木	3	TBL		臨床感染症学・宮崎	4講
7	16	木	4	TBL		臨床感染症学・宮崎	4講

臨床医学 TBL (I・II・III)

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30 ~ 17:30		

対象年次・学期	3年前期・後期 4年前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	I : 2単位, II : 1単位 III : 1単位
英語名	Team Based Learning		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

チーム基盤型学習 (Team-based learning : TBL) は、各臨床系統講義終了後にまとめの意味も含んで行われる学習形態である。7～8人ずつの小グループに分かれ、大講義室で一斉に討論する。

下記に具体的な流れを記載する。

- ① 講義前に、与えられたテーマや内容に沿った事前学習を行っておく。
- ② 講義当日にまず事前学習内容に沿った準備確認テストを行う。
- ③ テスト後の解説を受ける。
- ④ 応用問題をグループ内、グループ間で討論する。
- ⑤ まとめを行う。

このように自分の理解度を確認し、他人と知識を交換・共有することにより、より記憶に残り学習効果が増加することが分かっている。座学による受動的な学習を行った後にTBLのような能動的学習を行うことにより、学んだ知識を臨床医療に沿って利用することができるようになり、臨床実習へのステップとなることを期待する学習形態である。

2. 授業内容（講義・実習項目）

担当教官によって内容は異なる。

3. 教科書、参考書

適宜。事前学習方法・内容に関しても担当教官によって異なる。

4. 成績評価の方法・基準

出席の状況、準備確認テストの結果、討論への参加状況をもとに評価する。

5. カリキュラム

チーム編成、授業内容、担当教官等は別途。

6. 備考

血 液 ・ リ ン パ 系

責任者	氏 名	宮崎 泰司	内 線	7109
	教 室	原研内科（血液内科学）	e-mail	y-miyaza@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日17時～17時30分		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Hematopoietic and lymphoid system		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：骨髄とリンパ節の構造、そこで産生される造血細胞（赤血球、白血球[顆粒球・リンパ球]、血小板）の形態、機能、産生機序、および止血機構を理解する。これらの基本的理解に立って、各血液疾患、リンパ系疾患、止血・線溶機構異常による疾患の病因と病態、臨床事項について理解する。

到達目標：正常血球の認識に基づき血液細胞の産生や機能、凝固止血機構を説明できる。主要血液疾患の病因と病態、臨床事項（症状、所見、診断と治療）を説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

血液の構成成分、骨髄と血球産生機序を学習し、血球形態理解のために、顕微鏡実習を行う。次に赤血球の異常、造血幹細胞異常、顆粒球の異常、リンパ球および免疫細胞の異常、止血機構と出血性素因、小児の血液疾患、血液疾患の治療の各項目について講義を行う。

3. 教科書、参考書等

LACSにあらかじめ資料を提示する。各担当教官より必要に応じて資料が配布される。

書 名	著 者	出版社	定 価
講義録 血液・造血器疾患学	小澤敬也 他	メジカルビュー社	5,500 円
カラーテキスト血液病学（参考書）	木崎 昌弘 他	中外医学社	26,000 円
三輪 血液病学（参考書）	浅野茂隆 他	文光堂	45,000 円
血液専門医テキスト（参考書）	日本血液学会編集	南江堂	15,000 円
臨床に直結する血栓止血学	朝倉 英策 他	中外医学社	7,600 円

4. 成績評価の方法・基準

毎回、出席カードによる出席の確認を行う。実習ではレポートを提出する。出席率2/3以上の者は定期試験の受験資格を有する。実習レポートを10%、内科・小児血液を併せた定期試験を90%として評価する。合計60点以上を合格とする。

5. 教員名

原研内科：宮崎泰司、波多智子、今泉芳孝、田口 潤、澤山 靖、佐藤信也
小児科：森内浩幸、岡田雅彦

6. 備考（準備学習等）

LACSの資料にて予習することが望ましい。

血液・リンパ系授業予定（３年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	8	火	3	血液学総論	造血総論：血球の個体発生・造血細胞の分化と増殖	宮崎	実2
9	8	火	4	血液形態実習	末梢血：血液の成分と機能、正常末梢血液細胞	宮崎	実2
9	15	火	3	血液形態実習	骨髓：造血幹細胞と血球の分化、正常骨髓細胞	宮崎	実2
9	15	火	4				
9	29	火	3	赤血球系疾患（１）	赤血球総論・貧血総論・鉄欠乏性貧血・二次性貧血	澤山	4講
9	29	火	4	赤血球系疾患（２）	巨赤芽球性貧血、溶血性貧血	澤山	4講
10	6	火	3	赤血球系疾患（３）	造血障害（再生不良性貧血、骨髓異形成症候群など）	澤山	4講
10	6	火	4	白血球系疾患（１）	白血球総論	波多	4講
10	13	火	3	白血球系疾患（２）	急性白血病	波多	4講
10	13	火	4	白血球系疾患（３）	慢性骨髓性白血病、骨髓増殖性腫瘍	波多	4講
10	20	火	3	リンパ系疾患（１）	リンパ系総論、反応性リンパ系疾患	今泉	4講
10	20	火	4	リンパ系疾患（２）	悪性リンパ腫	今泉	4講
10	27	火	3	リンパ系疾患（３）	慢性リンパ性白血病、成人T細胞白血病	今泉	4講
10	27	火	4	リンパ系疾患（４）	脾疾患、血漿蛋白質の異常	今泉	4講
11	10	火	3	出血・血栓性疾患（１）	止血機構	佐藤	4講
11	10	火	4	出血・血栓性疾患（２）	血小板異常、凝固異常	佐藤	4講
11	17	火	3	出血・血栓性疾患（３）	DIC、血栓性疾患	佐藤	4講
11	17	火	4	血液疾患の治療	造血幹細胞移植	田口	4講
11	19	木	4	小児血液疾患（１）	小児貧血（溶血性貧血、Fanconi貧血など）	岡田（小児科）	4講
11	24	火	3	小児血液疾患（２）	好中球機能と先天異常、出血性素因	岡田（小児科）	4講
11	24	火	4	小児血液疾患（３）	悪性新生物（小児白血病など）	岡田（小児科）	4講
11	26	木	3	T B L	赤血球系疾患	波多	4講
11	26	木	4				
11	30	月	3	T B L	リンパ系疾患	今泉	4講
11	30	月	4				

内 分 泌 ・ 代 謝 ・ 栄 養 系

責任者	氏 名	川上 純	内 線	7260
	教 室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	8:00～9:00		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Endocrinology and Metabolism		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症状・所見、検査、治療について理解する。

到達目標：代表的な内分泌・代謝疾患について病因、病態生理、症状・所見、検査、治療について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

内分泌学の基本であるホルモンは特異的な内分泌腺から分泌され、血流を介して各ホルモんに特異的受容体を有する標的細胞に作用する生理活性物質と定義されています。講義ではまず、総論としてすべてのホルモんに共通した概念、作用機序、分泌調節機序を理解してもらい、次に各論として代表的ホルモンを分泌する内分泌腺（視床下部下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺）別に、個々のホルモンの作用、分泌調節、さらに代表的な疾患（末端肥大症、尿崩症、バセドウ病、クッシング症候群など）および最近のトピックについて話を進める予定です。

代謝・栄養系として、栄養学ならびに糖代謝について基本的な概念を習得し、その上で、糖尿病、低血糖、高脂血症、肥満、痛風などの疾患を講義します。糖尿病はインスリン分泌および作用の不足の結果、高血糖を生じますが、慢性的な高血糖が持続しますと糖尿病に特有な腎症・網膜症・神経障害などの合併症を生じます。最初に、糖尿病の分類、診断、糖尿病合併症および糖尿病の治療について講義します。また、トピックとしていくつかの遺伝子異常による糖尿病や、新しい糖尿病治療薬などについてふれます。

高脂血症とは血中脂質（コレステロール、中性脂肪）が増加した状態であり、動脈硬化性疾患（心筋梗塞、狭心症）の主な危険因子です。まず最初にリポ蛋白代謝について説明し、次に高脂血症の分類、動脈硬化の発生機序、メタボリック症候群について講義します。

外科分野として、乳癌や乳腺良性疾患および甲状腺癌、バセドウ病、副甲状腺機能亢進症などの外科治療を中心に基礎的な知識や最新のトピックスについて触れていきます。また乳癌に関しては分子標的治療薬を含めた薬物療法についても講義します。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
NIM LECTURE:内分泌・代謝病学	井村裕夫・清野 裕 編	医学書院	7,500 円
CECIL TEXTBOOK OF MEDICINE (23rd ed)	Arend, Armitage Clemmons 他 編	W. B. Saunders company	

Harrison`s PRINCIPLES of INTERNAL MEDICINE(17th ed)	Fauci, Kasper, Longo Braunwald 他 編	Mc Graw-Hill	
Williams textbook of Endocrinology (11th ed.)	Kronenberg, Melmed, Polns ky Larsen 他 編	Saunders	
標準外科学 (第13版)	監修:加藤 治文	医学書院	

4. 成績評価の方法・基準

定期考査 100%

筆記試験において60点以上を合格とする。

5. 教員名

第一内科：阿比留教生、安藤隆雄、堀江一郎、赤澤諭

生活習慣病予防診療部：世羅至子

国際ヒバクシャ医療センター：宇佐俊郎

医育支援センター：桑原宏永

保健・医療推進センター：山崎浩則、古林正和

腫瘍外科：矢野洋

移植・消化器外科：山之内孝彰

栄養管理室：花田浩和

6. 備考（準備学習等）

教科書・参考図書にて予習しておくことが望ましい。

内分泌・代謝・栄養系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	7	月	3	内分泌総論	ホルモン作用機序・疾患総論	第一内科 安藤	第3
9	7	月	4	甲状腺	甲状腺総論		第3
9	11	金	2	代謝・栄養学	栄養学	栄養管理室 花田	第3
9	11	金	3	糖尿病	糖代謝総論	第一内科 阿比留	第3
9	11	金	4		糖尿病の分類と診断	保健・医療推進センター 山崎	第3
9	14	月	3	視床下部・下垂体	視床下部・下垂体後葉疾患	国際ヒバクシャ医療セン ター 宇佐	第3
9	14	月	4		下垂体前葉疾患		第3
9	18	金	3	糖尿病	糖尿病昏睡・急性合併症	医育支援センター 桑原	第3
9	18	金	4	痛風	核酸代謝・高尿酸血症・低血糖	第一内科 赤澤	第3
9	25	金	3	甲状腺	甲状腺機能亢進症	第一内科 世羅	第3
9	25	金	4		甲状腺機能低下症		第3
9	28	月	3	糖尿病	糖尿病の治療	第一内科 阿比留	第3
9	28	月	4				第3
10	2	金	3	副腎	副腎皮質疾患	国際ヒバクシャ医療セン ター 宇佐	第3
10	2	金	4		副腎髄質疾患		第3
10	5	月	3	甲状腺	甲状腺腫瘍	第一内科 堀江	第3
10	5	月	4	カルシウム代謝	高・低カルシウム血症・代謝性骨疾患		第3
10	19	月	3	乳腺・内分泌	乳腺外科	移植消化器外科 山之内	第3
10	19	月	4	乳腺・内分泌	甲状腺外科	腫瘍外科 矢野	第3
10	26	月	3	糖尿病	糖尿病の慢性合併症	保健・医療推進センター 古林	第3
10	26	月	4	性腺・消化管ホルモン	性分化異常症・消化管ホルモン産生腫瘍	第一内科 堀江	第3
11	2	月	3	脂質異常症	リポ蛋白代謝・分類、治療	保健・医療推進センター 山崎	第3
11	2	月	4	肥満	分類・成因・治療、メタボリックシンドローム		第3
11	9	月	3	TBL	内分泌・代謝疾患	第一内科 阿比留	第4
11	9	月	4			第一内科 赤澤	第4
11	16	月	3	TBL	内分泌・代謝疾患	第一内科 堀江	第4
11	16	月	4			第一内科 堀江	第4

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏 名	川上 純	内 線	7260
	教 室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午後		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。リウマチ・膠原病の分野は病態解析、診断技術、治療法の進歩が著しい分野である。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および病態に応じた治療法の選択などを学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変や治療のまとめおよび最近のトピックスも授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとシラバス）

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版者	定価
シラバス	講義担当者		
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500 円
膠原病学(改訂第5版)	塩沢 俊一	丸善	15000 円
膠原病診療ノート第3版	三森 明夫	日本医事新報社	5800 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の点数 60%以上で合格とする。

5. 教員名

第一内科 : 川上 純、中村英樹、一瀬邦弘、岩本直樹
 保健学科 : 折口智樹
 第二内科 : 西野友哉、角川智之
 皮膚科 : 鋤塚さやか
 非常勤講師 : 井田弘明（久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授）
 右田清志（国立病院機構長崎医療センター）

6. 備考（準備学習等）

シラバスに目を通しておくこと。

免疫・アレルギー疾患系講義予定（３年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	11	金	1	総論1	自己免疫、リウマチ性疾患総論	第一内科：川上	3講
9	18	金	1	総論2	リウマチ膠原病の主要徴候、臨床検査	非常勤講師：右田	3講
9	18	金	2	各論1	全身性エリテマトーデス	第一内科：一瀬	3講
9	25	金	1	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科：西野	3講
9	25	金	2	各論2	強皮症、シェーグレン症候群	第一内科：中村	3講
10	2	金	1	各論3	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科：岩本	3講
10	2	金	2	各論4	関節リウマチの治療 成人発症スティル病	保健学科：折口	3講
10	9	金	1	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科：中村	3講
10	9	金	2	各論5	関節リウマチの病態	非常勤講師：井田	3講
10	16	金	1	各論6	多発性筋炎／皮膚筋炎 混合性結合組織病	第一内科：川上	3講
10	16	金	2	各論7	血清反応陰性脊椎関節症 ベーチェット病	非常勤講師：右田	3講
10	23	金	1	各論8	血管炎症候群	保健学科：折口	3講
10	23	金	2	膠原病の皮膚症状	膠原病の皮膚症状	皮膚科：鯨塚	3講
10	30	金	1	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科：角川	3講
10	30	金	2	リウマチ性疾患の病因	診断、治療、病態：最近のトピックス	第一内科：川上	3講
11	6	金	1	免疫・アレルギー系 TBL		第一内科：岩本	4講
11	6	金	2				4講

腎 泌 尿 器 系

責任者	氏 名	酒井英樹	内 線	7340
	教 室	腎泌尿器病態学（泌尿器科学）	e-mail	hsakai@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:00～17:00（火曜日）泌尿器科医局		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Nephro-urology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象にした腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解する。

方法：生理学、腎臓内科学、小児科学、泌尿器科学の各分野が分担して講義を行う。

到達目標：1) 腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる一特に腎の生理と排尿の生理を理解することが重要である。2) 腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。3) 腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。4) 各疾患の治療法を概説できる。また、小児と成人の差違、内科的あるいは外科的治療の差違について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

まず、体液の恒常性維持における腎の機能について学び、次に腎・泌尿器系疾患の病態、症候、検査、診断および治療について系統的に講義する。この系で学ぶ主要な疾患は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧・腎血管病変、全身性疾患に合併した腎病変、小児の腎疾患、外科的処置や手術を必要とする腎・尿路系疾患（腫瘍、結石、外傷）、排尿障害および尿路感染症などである。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディシン6巻	下条文武・斎藤康	西村書店	3,800 円
講義録 泌尿器科学	荒井陽一 小川 修 編	メジカルビュー	6,000 円
Smith's General Urology	Emil Tanagho	Lange	8,000 円
病気が見える腎・泌尿器		医療情報科学研究所	3,564 円
Renal disease:classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glasscock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
小児腎臓病学	日本小児腎臓病学会編	診断と治療社	10,290円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7,600円

4. 成績評価の方法・基準

前期末に筆記試験を行う。各分野の配点は、小児科10点、腎臓内科45点、泌尿器科45点とし、合計60点以上を合格とする。

5. 教員名

病態生理制御学（腎臓内科）：西野友哉、小畑陽子、浦松 正、川崎智子、井生久美子

血液浄化療法部：錦戸雅春、北村峰昭

感染病態制御学（小児科）：森内浩幸、白川利彦

腎泌尿器科学（泌尿器科）：酒井英樹、宮田康好、望月保志、木原敏晴、井川掌（久留米大）

6. 備考（準備学習等）

腎・尿路系の解剖、生理、病理学について復習しておくこと。

腎泌尿器系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	9	水	3	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系 イントロダクション	泌尿器科・酒井	4 講
9	9	水	4	内科的腎疾患	臨床総論；腎疾患の主要症候	腎臓内科・西野	4 講
9	16	水	3	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（検尿異常）	腎臓内科・川崎	4 講
9	16	水	4		腎疾患のとらえかた（腎機能障害）		4 講
9	30	水	3	内科的腎疾患	糸球体腎炎	腎臓内科・浦松	4 講
9	30	水	4		糸球体腎炎		4 講
10	7	水	3	内科的腎疾患	ネフローゼ症候群（含2次性腎症）	腎臓内科・牟田	4 講
10	7	水	4		ネフローゼ症候群（含2次性腎症）		4 講
10	14	水	3	内科的腎疾患	腎不全	腎臓内科・北村	4 講
10	14	水	4		腎不全		4 講
10	21	水	3	内科的腎疾患	腎臓と体液（腎臓の構造と生理機能）	腎臓内科・小畑	4 講
10	21	水	4		腎疾患のとらえかた（恒常性の破綻）		4 講
10	28	水	3	内科的腎疾患	腎間質障害・循環障害・感染	腎臓内科・川崎	4 講
10	28	水	4	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：解剖・生理	泌尿器科・宮田	4 講
11	4	水	3	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科・森内（白川）	4 講
11	4	水	4		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		4 講
11	11	水	3	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：症候・検査法	泌尿器科・宮田	4 講
11	11	水	4		尿路性器外傷		4 講
11	13	金	3	泌尿器科疾患	腎腫瘍、腎血管性病変	血液浄化・錦戸	4 講
11	13	金	4		腎不全、腎移植、腎不全外科		4 講
11	18	水	3	内科的腎疾患	腎臓内科TBL	内科2・浦松	4 講
11	18	水	4				4 講
11	20	金	3	泌尿器科疾患	性機能障害	泌尿器科・宮田	4 講
11	20	金	4		小児泌尿器疾患	泌尿器科・木原	4 講
11	25	水	1	泌尿器科疾患	膀胱疾患、尿路上皮腫瘍	泌尿器科・宮田	4 講
11	25	水	2		排尿機能障害		4 講
11	25	水	3		尿路結石	泌尿器科・井川（久留米大学）	4 講
11	25	水	4		炎症性疾患	泌尿器科・酒井	4 講
11	27	金	3	泌尿器科疾患	泌尿器科TBL	泌尿器科・望月	4 講
11	27	金	4				4 講

生 殖 系

責任者	氏 名	増 崎 英 明	内 線	7361
	教 室	産科婦人科学	e-mail	bunbuku@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金 17:00～17:30		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Reproductive Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

(ねらい) 男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に理解するのがねらいである。

(到達目標) 男性生殖器、女性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立のしくみ、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠・胎児・分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠・分娩について説明できる。主な女性生殖器疾患について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義時間は63時間（42コマ）であり、その内訳は、第三解剖1.5時間（1コマ）、泌尿器科4.5時間（3コマ）および産婦人科51時間（34コマ）TBL6時間（4コマ）である。

3. 教科書、参考書等

	著 者	出版社	定 価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
新泌尿器科学	内藤誠二	南山堂	8,700 円
標準産科婦人科学	岡井 崇 他編	医学書院	8,610 円
臨床産科超音波診断 改訂2版	増崎英明	メディカ出版	7,800 円

4. 成績評価の方法・基準

出席点および筆記試験により評価する。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。原則として60%以上の得点をもって合格とする。

5. 教員名

第三解剖 : 小路武彦
泌尿器科 : 酒井英樹
産婦人科 : 増崎英明、三浦清徳、金内優典、吉田 敦、北島道夫、平木宏一、井上統夫、カーンカレク、長谷川ゆり、東島愛、松本加奈子、谷口憲

非常勤講師：吉村泰典（元慶應義塾大学）
片渕秀隆（熊本大学）
村上 誠（佐世保市立総合病院）
中山大介（佐世保市立総合病院）
中島久良（長崎市立市民病院）

檜原久司（大分大学）
藤森敬也（福島県立医大）
藤下 晃（済生会長崎病院）
小寺宏平（長崎市立市民病院）
江口二郎（佐世保共済病院）

6. 備考（準備学習等）

とくになし。

生殖系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	8	火	1	イントロダクション	産婦人科学について	産婦人科・増崎	3 講
9	8	火	2	性分化と性器の発生	性器の発生、性分化異常	解剖3・小路	3 講
9	9	水	1	男性生殖器の疾患 (1)	前立腺癌／前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	3 講
9	9	水	2	女性の性機能	性機能系のホルモン／視床下部-下垂体-卵巣系／性器の周期的変化	産婦人科・井上	3 講
9	15	火	1	女性性器の構造	女性性器の構造／産婦人科診察	非常勤・藤下	3 講
9	15	火	2	女性性器の異常	形態異常／位置異常／損傷と瘻	非常勤・藤下	3 講
9	16	水	1	男性生殖器の疾患 (2)	精巣腫瘍／陰茎腫瘍	泌尿器科・酒井	3 講
9	16	水	2	外陰・膣の疾患 (2)	外陰癌／膣癌	非常勤・村上	3 講
9	29	火	1	外陰・膣の疾患 (1)	外陰・膣の炎症／性感染症／骨盤内炎症性疾患 (PID)	産婦人科・カーン	3 講
9	29	火	2	子宮の疾患 (1)	子宮筋腫／子宮内膜症／子宮腺筋症	産婦人科・カーン	3 講
9	30	水	1	月経	月経周期・排卵の調節機構	非常勤・檜原	3 講
9	30	水	2	子宮の疾患 (2)	子宮頸管ポリープ／子宮頸部異形成／子宮頸癌	非常勤・中島	3 講
10	6	火	1	付属器の疾患 (2)	卵巣癌・卵管癌	非常勤・小寺	3 講
10	6	火	2	付属器の疾患 (1) ／ 子宮の疾患 (3)	卵巣腫瘍・類腫瘍病変／子宮内膜増殖症・子宮体癌	産婦人科・金内	3 講
10	7	水	1	不妊 (1)	性分化異常／男性不妊症	非常勤・江口	3 講
10	7	水	2	不妊 (2)	不妊症－生殖補助技術の光と陰	産婦人科・井上	3 講
10	13	火	1	妊娠の生理 (1)	生命のはじまり－受精と着床／胚形成と胎盤形成	産婦人科・北島	3 講
10	13	火	2	婦人科手術	エキスパートが教える婦人科手術の種類とその特徴	産婦人科・平木	3 講
10	14	水	1	加齢と疾患	更年期障害／老年期障害	産婦人科・北島	3 講
10	14	水	2	婦人科腫瘍の病因学	ノーベル生理医学賞と子宮頸癌予防HPVワクチン	非常勤・片渕	3 講
10	20	火	1	妊娠の生理 (2)	胎児の発育／胎児-胎盤系の生理／妊娠による母体の変化	産婦人科・平木	3 講
10	20	火	2	正常分娩 (1)	分娩の概念／陣痛初来機序／分娩の3要素／分娩機転	産婦人科・高野	3 講
10	21	水	1	正常分娩 (2)	正常分娩の経過と管理／産褥期／新生児	産婦人科・谷口	3 講
10	21	水	2	難産	陣痛の異常／児頭骨盤不均衡 (CPD) ／胎位・胎向・胎勢の異常	産婦人科・高野	3 講
10	27	火	1	妊娠の異常 (1)	妊娠悪阻／流産／不育症／子宮外妊娠	非常勤・藤下	3 講

生殖系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	27	火	2	妊娠の異常（2）	絨毛性疾患／胎児発育遅延（FGR）	産婦人科・東島	3 講
10	28	水	1	産科処置	産科手術／分娩誘発・促進／産科麻酔	産婦人科・平木	3 講
10	28	水	2	胎児機能不全	胎児心拍数陣痛図（CTG）の読み方	非常勤・藤森	3 講
11	4	水	1	妊娠の異常（3）	産科出血／産科ショックとDICー産科救急の対処法	産婦人科・松本加	3 講
11	4	水	2	妊娠の異常（4）	多胎妊娠	産婦人科・三浦	3 講
11	10	火	1	妊娠の異常（5）	妊娠中の高血圧	産婦人科・吉田	3 講
11	10	火	2	妊娠の異常（6）	早産と前期破水	産婦人科・吉田	3 講
11	11	水	1	妊娠の異常（7）	妊娠と感染／周産期感染症	産婦人科・三浦	3 講
11	11	水	2	妊娠の異常（8）	羊水過多症／羊水過少症／胎盤・臍帯の異常	産婦人科・長谷川	3 講
11	17	火	1	先天異常	先天異常／遺伝／出生前診断／胎児治療	非常勤・中山	3 講
11	17	火	2	合併症妊娠（1）	内分泌・代謝／自己免疫／精神神経疾患	産婦人科・長谷川	3 講
11	18	水	1	合併症妊娠（2）	婦人科／心血管／血液／腎・泌尿器／消化器／呼吸器疾患	産婦人科・長谷川	4 講
11	18	水	2	TBL 1	生殖内分泌	産婦人科・北島	4 講
11	24	火	1	TBL 2	周産期 1	産婦人科・三浦	4 講
11	24	火	2	TBL 3	周産期 2	産婦人科・吉田	4 講
11	30	月	1	医療倫理	生殖医療と生命倫理	非常勤・吉村	4 講
11	30	月	2	TBL 4	婦人科腫瘍	産婦人科・金内	4 講

小 児 系

責任者	氏 名	森 内 浩 幸	内 線	7298
	教 室	小児科学	e-mail	hiromori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00 - 18:00 / Tel095-819-7298		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Pediatrics & Pediatric Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらう。

到達目標：正常発達過程を理解することができる。小児の特異性を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。成長発達していく過程で生じる主な内科的・外科的疾患の病態生理・臨床的特徴・診断法・予防法・治療法を覚える。（小児科総括講義と併せて）小児患者に対する症候学的アプローチの基礎を習得し、小児科臨床実習を行うにあたって必要な臨床知識を整理することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要：オムニバス形式で小児の正常発達、（他の系で取り上げられていない）小児内科的疾患、小児外科的疾患、小児形成外科的疾患、小児歯科学を講義する。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	秦・野崎 編	医学書院

（注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。）

4. 成績評価の方法・基準

定期考査（95%）によって、主な小児疾患の病態生理・臨床像・診断・予防・治療法の理解と習得できた知識のレベルを評価する。レポート（5%）によって、小児の成長発達に関する理解度を評価する。

5. 教員名

森内浩幸、木下史子、橋本邦生（小児科）；大畠雅之（外科1）；小坂太一郎（外科2）；矢野浩規（形成外科）；【非常勤講師】本村克明（長崎市保健所）、藤原 卓（歯学部）；近藤達郎（みさかえの園）；平松公三郎（国立病院機構長崎病院）；本山和徳、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター）

7. 備考（準備学習等）

小児の疾患については他の多くの系の授業の中でも取り上げられており、それらを総合して始めて小児の疾患を網羅的に学ぶことができる。小児系とこれらの系の関連講義で学んだことを相互に連結されるように予習・復習する。

小児系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	10	木	3	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児：乳幼児期は感受性が高く、両親から多くを学び、親子が共に急速に成長する時期である。妊娠・出産・子育てを理解し、人生で最も大事な時期を医師として如何に支援していくかを学ぶ。	森内（小児科）	4 講
9	10	木	4				4 講
9	17	木	3	新生児	新生児期は胎児期から乳児・小児期への移行期にあたり、特殊な生理・病態を呈する。胎児・新生児の生理をよく理解してもらった上で、早産に代表されるハイリスク新生児の病態や疾患について解説する	木下（小児科）	4 講
9	17	木	4				4 講
9	24	木	3	呼吸器・アレルギー・免疫	①小児気管支喘息の病態生理・診断・重症度分類・治療（急性発作への対応、長期管理の為の薬物療法）、②食物アレルギーの臨床型分類・診断・治療・予防、③アナフィラキシーの定義・対応を学ぶ。④小児期に発症する自己免疫疾患を習得する。	橋本（小児科）	4 講
9	24	木	4				4 講
10	1	木	3	内分泌・代謝・栄養	小児の成長の特性について理解するとともに、発達期の栄養と内分泌代謝疾患の概要を把握する。	本村（非常勤：長崎市保健所）	4 講
10	1	木	4				4 講
10	8	木	3	先天異常・遺伝	メンデル遺伝、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、染色体異常、後成的修飾による疾患を各々概説し、遺伝性疾患患者がおかれている諸問題及びそれに対する遺伝カウンセリングについて論じる。	近藤（非常勤：みさかえの園）	4 講
10	8	木	4				4 講
10	15	木	3	小児心療内科	小児の心と身体の間わりについて学ぶ。小児の心身症、行動障害、不登校など、心身医学的配慮が必要な病態と、その対応について理解する。	小柳（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	4 講
10	15	木	4	発達障害	発達障害の概念、医療的対応について述べ、児の早期発達支援ならびに家族支援の重要性を学ぶ。	本山（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	4 講
10	22	木	3	小児形成外科	顔面・手の発生と様々な先天異常、および発達中の小児における治療とその影響について講義する。	矢野（形成外科）	4 講
10	22	木	4	前半：療育医療	医療を要する重度重複障害児の存在を認識し、命を支え障害と共に生きるために必要な医療について理解する。	平松（非常勤：国立病院機構長崎病院）	4 講
				後半：小児歯科	①口腔や歯に影響を及ぼす疾患や薬剤について、②齲蝕菌性細菌の伝播と齲蝕の発生メカニズムについて	藤原（非常勤：歯学部）	
10	29	木	3	TBL		森内（小児科）	4 講
10	29	木	4				4 講
11	5	木	3	小児外科（1）	顔面・頸部、胸部（胸壁・肺・気管・縦隔・横隔膜・乳腺・食道）、消化管（胃・十二指腸・空回腸・結腸・直腸）疾患の発生、病態、診断、治療について理解する。	大畠（第1外科）	4 講
11	5	木	4				4 講
11	12	木	3	小児外科（2）	肝臓・脾臓・腹壁・移植・腫瘍（特に胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症）、腹壁形成異常（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、小児の移植、小児固形腫瘍と集学的治療について概説する。	小坂（第2外科）	4 講
11	12	木	4				4 講
11	19	木	3	感染症	小児の免疫学的特徴を理解し、種々の病原体の疫学と生態学を知り、小児における主な感染症を学ぶ。	森内（小児科）	4 講

放 射 線 医 学

責任者	氏 名	上 谷 雅 孝	内 線	7353
	教 室	放射線医学（放射線診断治療学）	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Radiology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標 と 2. 授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。本講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。到達目標は、国家試験レベルの代表的疾患の画像診断ができるようになること、および放射線治療の適応・方法についての理解である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準放射線医学 第7版	西谷 弘 他編	医学書院	10,500円
画像診断を学ぼう 単純写真とCTの基本	Hering W 著、江原 茂訳	メディカルサイエンス・インターナショナル	6,800円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著、藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
胸部単純X線アトラス	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500円

4. 成績評価の方法・基準

4年時学年末試験にて60%以上の得点率にて合格とする。

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、坂本一郎、森川 実、林 秀行、末吉英純、瀬川景子、井手口玲子
先端医育センター：江川亜希子
臨床腫瘍学：芦澤和人
原研アイソトープ診断治療学：工藤 崇
非常勤講師：森 宣（大分大学放射線科）

6. 備考（準備学習等）

画像診断や放射線治療の理解は、各疾患の病態生理・病理学等の理解が基本となる。これまで学習してきた各臓器・領域の主な疾患について復習しておいてほしい。

放射線医学授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	22	木	1	骨・関節（1）	上谷	4 講
10	22	木	2	放射線治療（1）	山崎	4 講
10	29	木	1	放射線治療（2）	江川	4 講
10	29	木	2	乳腺	瀬川	4 講
11	5	木	1	腹部（1）	林	4 講
11	5	木	2	腹部（2）	森（大分大学）	4 講
11	12	木	1	脳神経（1）	森川	4 講
11	12	木	2	脳神経（2）	井手口	4 講
11	19	木	1	胸部（1）	芦澤	4 講
11	19	木	2	胸部（2）	芦澤	4 講
11	20	金	1	血管造影・IVR	坂本	4 講
11	20	金	2	心・大血管	末吉	4 講
11	26	木	1	核医学（1）	工藤	4 講
11	26	木	2	核医学（2）	工藤	4 講

プレリサーチセミナー

責任者	氏 名	西田 教行	内 線	7057
	教 室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		
対象年次・学期		1年～3年：通年	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択		必修 (研究医枠及び熱帯医学研究医枠)	単位数	各1単位
英語名		Pre research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

3. 配属教室

医学部基礎系、熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所の各教室

4. 授業内容等

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次前期：先導生命科学研究支援センター及び共同利用研究センターにおいて、研究医実習を行う。

2年次後期～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

5. 成績評価の方法・基準

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

2年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が100点満点で評価する。

6. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

7. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

リサーチセミナー

責任者	氏名	福岡順也	内線	7053
	教室	臨床病理学	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス			
対象年次・学期		3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修	単位数	11.5
英語名		Research Seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

有能な医師になる為には、基礎研究を理解し、実施する能力が必須である。医学はまだ発展途上にあり、有能な医師は、その発展の一端を担える能力、研究成果の是非を判断する能力を習得しなければならない。現在、専門医の重要性が強調される裏側で、研究に対する意識が薄らぐ傾向にあると言えるが、リサーチセミナーでは、研究の実践を通じて「医学」が「科学」としていかに発展するかというプロセスを学ぶ。セミナー期間中は、熱帯医学研究所・原爆後遺症医療研究所を含む基礎系教室で終日研究活動に従事し、配属先の基礎医学系教員とマンツーマンの指導を受け、研究背景を学術論文から理解し、研究計画書を作成して実践し、研究結果をまとめ、発表および討論を行う能力を身につけることを目標とする。なお合同発表会は、可能な限り一般公開する。

2. 期間

平成28年1月4日（月）から同年2月26日（金）研究報告書提出は学務係へ（〆切り3月2日）

3. 研究テーマの選択方法

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

4. リサーチセミナー履修の認定の条件

1. セミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に200時間以上に従事していること。
3. 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務係へ提出すること。（〆切り3月2日）
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（〆切り3月2日）
5. 今年度5月に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席していること。
6. 翌年度に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席し、発表・討論を行うこと。

5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所・先端生命科学研究支援センターの基礎系講座。

6. 成績評価の方法・基準

研究報告書・担当教官の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

English for International Medicine

Instructors: Luc Loosveldt/Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This course is designed for students interested in careers in international medicine. Focus will be on developing relevant and effective communication techniques, building fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English. A range of materials will be introduced to discuss global health issues. Students will be asked to research and introduce their own materials in class to show their understanding.	
Required Textbooks	
A range of materials will be used to introduce global health issues for discussion; materials will be made available on NU-minds, the English section's website.	
Topics	
1	First topic - pre-discussion, useful vocabulary and phrases, assignment of group roles
2	Small group discussion of readings - preparation of introductory presentation
3	Short presentations with Q&A
4	In-group review of short presentations + choosing the next topic
5	Small group discussion of readings - preparation of second short presentation
6	Short presentations with Q&A
7	In-group review of short presentations + choosing the next topic
8	Small group discussion of readings - preparation of third short presentation
9	Short presentations with Q&A
10	In-group review of short presentations + choosing the next topic
11	Small group discussion of readings - preparation of fourth short presentation
12	Short presentations with Q&A
13	Choosing the topic for the final presentation, preparing the poster
14	Review of the poster + practice sessions
15	Final poster presentations + evaluations and review of performance
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, group work, group presentation, on-line forum participation, written assignments, and review tests. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	

医 学 ゼ ミ

責任者	氏 名	西田 教行	内 線	7057
	教 室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

平成27年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(3年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
組織解剖	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
生化学	伊藤 敬	論文から学ぶ生化学	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期	7名	日曜日午前10:30時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 巽 理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的な背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎回1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	5名	金曜日1校時	薬理学教室セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
探索病理 (病理1)	下川 功 森 亮一 林 洋子 Park Seongjoon	Guide of NUSM	本学医学部の歴史、現状を認識し、未来を描く。	本学医学部を紹介するホームページ、ビデオクリップを製作する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	第一病理、医局図書室	作品の創造性	開講時間以外に個人、グループ活動を必要とする。
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深める。免疫学の講義を履修した3、4年生が主要な対象であるが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	免疫学分野集會室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行	プリオン学	プリオンに関して深く掘り下げる。論文読解を中心に行う。	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う。レポートの書き方などの指導を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	8名	金曜日1校時	基礎棟8階集會室	出席およびレポート	
病態分子疫学	ブニーター・ゴーチヤン	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の医学生と欧米(に限らないが)の医学生の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるグローバルヘルス・熱帯医学の分野に関心のある学生を対象に、この分野の標準的教科書のOne chapter(viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方(critical reading skill)を習得する。	熱帯医学の成書として定評のある英国のManson's Tropical Diseasesおよび米国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesのviral gastroenteritisの章を学生が分担して読むこと(翻訳することではない)により、①要点を説明するとはどういうことか、②教科書がどのような文献的エビデンスに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようなメッセージを伝えようとしているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1~6名	金曜日1校時	分子疫学	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医コースの学生、あるいはこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を含み、参加を通じて実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	10名	火曜日・水曜日 午前7時45分~8時30分	本館9階セミナー室(906号室)	出席やレポートによる総合評価	
精神神経科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者個々による研究発表や医療業界・医療に関する政策担当者などを招いて講演を聞く事などを通じて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	原則として水曜日17時開始。日程は初回時に参加する人と協議して決定	精神科外来62番診察室	ディスカッション等へ参加意欲の評価50%、各回の提出レポート・最終回後の提出課題の内容50%	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	黒滝 直弘	バトグラフィーと司法精神医学を究める	バトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	バトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、バトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視聴覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜日又は水曜日18時以降	精神科外来62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
第一外科 (腫瘍外科)	大畠 雅之 日高 重和	鏡視下手術入門~応用	20世紀後半から急速に進歩した鏡視下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であってもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。鏡視下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、鏡視下手術への理解を深めてもらう。	鏡視下手術の基礎を学んだ後にドライボックスを用いて実際の機材の操作を理解し、次第に高度なテクニクに移行する。その後シュミレーターを用いて虫垂切除術や胆嚢摘出術に挑戦する。	3年前期 4年前期	4名	水曜日5校時	腫瘍外科医局	ゼミ終了後のレポート	
第二外科 (移植・消化器外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 一外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートって知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳癌外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	移植・消化器外科医局(第二カンファ室):医局受付で問合い合わせてください。	出席を重要視する。ディスカッション内容、フリートーク形式です。レポート、試験などはありません。	講義内容、順番は予定であり若干の変更があり得ます。

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ？”	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足を行う。また、簡単なプレゼンテーションスキルやアイディア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加態度、発表、レポートなど	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	分子診断を学ぶ	臨床微生物や腫瘍の分子診断についての文献を読む。学生は提供された文献について学習し、発表する。	3年前期 4年前期	8名	隔週月曜 18:00-19:00	臨床検査医学医局(12階)	積極的な参加、文献の理解、発表を評価する。	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験する。	救急医療は拙速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験させる。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への対応、緊急的技法、集中治療等、救急医療で必要となる技術をシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	大学病院救命救急センター	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	感染症道場 ～見えない敵との戦い～	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先進的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	各学年3名ずつ	原則として月曜5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	6名	・水曜日夕方16時半～18時(7回程度) ・月一回程度18時30分～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必	地域医療学分野セミナー室(医学部基礎棟6階)ボンベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療に関連する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	1年前期 2年前期 3年前期	24名	8月21日(金)～8月24日(日)で前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。※食費についてはセミナーを通して5000円/人を予定しています。
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する医師を中心に、地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクター等も講師として招き、実情について講演して頂き、地域医療という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半には、夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。そして、最終日には、これらのゼミで学んだ事や、これからの地域医療について、各自発表を行う。	2年後期 3年前期 4年前期	10名	金曜日6校時	医学部基礎棟 1階 視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施する地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に判定する。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の受講も歓迎する。
先端医育センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外傷学、トレーニング法など	2年後期 3年前期	10名	火曜または木曜日の16:30から	医学部セミナー室2など	授業参加状況、レポートなど	体育会系部活に所属する人、スポーツに興味がある人、グループ討論が出来る人を募ります。

Practical English Skills for Third Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp
jbriganti@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This is a continuation of the second years' English courses, but with a special focus on the language of medical research. Students will support each other's learning in class and prepare short presentations to demonstrate their comprehension of the topics introduced in class.	
Required Textbooks	
Materials will be assigned and made available in class,	
Topics	
1	Introduction to the course
2	First group meeting: establishing group roles, deciding on first topic, deciding on topic focus, presentation proposal/ rubric
3	First group discussion; first presentation proposal
4	The abstract + presentation script script
5	Short presentations + Q&A practice
6	Second topic; second group discussion
7	Second report; giving feedback on each other's report
8	The abstract + presentation script + presentation practice
9	Second Short Presentation followed by Q&A
10	Third topic; second group discussion
11	Third report; giving feedback on each other's reports
12	Third Short Presentation followed by Q&A - choosing the final topic
13	Final topic - synthesizing what we learned for the final poster session
14	Final report; review posters, review scripts, practice scripts
15	Final Poster sessions
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, vocabulary quizzes, group project, written work, and written research proposals. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	